

陳情第 4 1 号	受理年月日	令和 3 年 7 月 2 6 日
付託委員会	保 健 福 祉 委 員 会	
件 名	新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止について	
要 旨	<p>令和 3 年 6 月 9 日時点の新型コロナウイルス感染症による年代別の死亡率は、30 代以下が 0 %、40 代が 0.1%、50 代が 0.3%、60 代が 1.3%、70 代が 4.8%、80 代以上が 13.1%であり、80 代以上の死亡者の平均年齢は平均寿命とほぼ同じである。</p> <p>このように、死亡率がごく低いにもかかわらず、国民全員にワクチン接種を勧める政府の方針に反対し、6 月 24 日、ワクチンの安全性を懸念する全国の医師や議員 450 名が、接種の中止を求める連名の嘆願書を国に提出した。発起人の高橋徳ウィスコンシン医科大学名誉教授は、国が公表しているデータについて、死亡率が非常に低く、感染者の 80 %が軽症にもかかわらず、安全性もまだ分かっていない遺伝子ワクチンを、国民全員に接種させる必要があるのか疑問だと説明している。接種を受けた人の死亡や重篤な副反応は増加する一方であり、インフルエンザワクチンによる死亡者が過去 10 年間で 19 名であるのに対し、新型コロナウイルスワクチンは、たった 4 か月半で 550 名以上という異常事態である。</p> <p>治験期間中で安全性が確認されていないワクチンを、広く市民に接種することは人体実験と同じであり、死亡者がいない子供や若年層へのワクチン接種をやめようとしない異常な政策は、同調圧力を生み出し、接種による被害を拡大する要因となっている。</p> <p>ついては、健全な社会を取り戻すべく、新型コロナウイルスワクチン接種を直ちに中止していただきたい。</p>	